

## 秩父（二子山）

山行日 8月4（水）天気：晴れ

参加者 1名

記：SF

コース：二子山登山口7：00→股峠7：55二子山東岳8：35→  
股峠9：20→三頭三角点：10：00→二子山西岳10：10→  
魚尾道峠11：25→二子山西岳登山口：12：00→  
二子山登山口12：10

このコースは低山で距離も短いですが、遭難が多いコースです、名前は二子山で東岳西岳があり、東岳は股峠よりの往復、又交通の便が悪いので、車での移動が良い、登山口は坂本バス停傍の林道を入れて直ぐの場所になり、車の駐車は4-5台の駐車スペースがあるが林道工事がある為に駐車場所に注意が必要、登山口には、大きな看板があり昨年の遭難情報が載っている、股峠までのコースは直ぐに沢中になり、リボン等があるがコースが不明瞭な場所が多く存在する、途中からは九十九折の急登になり道は赤土で滑りやすい、約1時間で股峠に到着、ここは別の登山口（倉尾）との合流点になる、峠の直ぐ下にローソク岩への分岐がある、最初に東岳に向かう、朝露の影響で道が湿っていて、滑り安い急登を岩場に向かう、コースは左側に回り込む、最初の鎖場が岩を回り込む場所で、最初の足場の下は絶壁で、注意が必要、登りは良いが、帰りは下りとなるので、さらに注意が必要鎖場の次は、トラロープがある岩場ですが、足場がありロープは必要無いその先で最初の頂上に着く、そこからはこれから向かう西岳の壁が正面に見える、ここからは両側が切れ落ちている細い尾根道を東岳に向かい、途中多少のアップダウンがあるが約10分位で東岳に到着、山頂は狭いが景観は良い、ここで登山者にあった、気温が高いのでここで休憩を取り、股峠に下った、登りより下りの方が、時間が掛かった、これから西岳に向かうコースの標識は一般コース、上級者コースの両方がある、R3.6.8で西岳上級者コースへの立ち入りは、ご遠慮願います、の看板があった、ここからも岩場までの間は人口林の九十九折急登で滑りやすい、約10分位で上級者コースと一般コースの分岐点に、今回は上級者コースへ進んだ、コース取り付け点にも看板があり、当分の間コースを閉鎖するの、標識があった、ここからは、急な岩の壁ですが、足場等もあり、慎重に登り始めた、途中に以前鎖を固定する金具があり、それを目安に登って行く、急な岩場も約10-15分位で終わり、その後は緩やかな草木のコースとなる、それを登り切ると、三頭三角点の場所ですここからは西岳山頂が見える、ここから数十メートル進と、一般コースに合する、但しここからは両側絶壁で細い尾根道で、急な下りや、岩場がルートとなる場所があり、ここ間での滑落事故も多いと、感じる、途中尾根を迂回する場所もあるが、踏み後が不明な箇所もあるので、コースに付いて、良く見る必要がある、約10分位で西岳山頂に到着、標識は柱からは落ちていて、岩の上においてある、山頂は東岳より狭いが景観は良い、その後尾根終点までの間は、細い尾根道、両側絶壁の状態が続く、尾根の終点よりは急な下りで鎖が設置されている、下り切ると、人口林で今まで通過した尾根道の岩壁の場所となる、壁沿いに下山を開始した、途中でローソク岩への分岐がある、このコースは西岳の壁添いに股峠まで行けるルートで、西岳を下から見ながらのコースです、今回は魚尾道峠側に進むには、標識があるが進コースに鹿柵があり、扉のロープを、緩め扉を開けて通過御に扉を閉める必要がある、ここからのコースは人口林の歩きやすい道となる、約40分位で西岳登山口に到着、そこから車道を約5分位歩き、二子山登山口に到着、今日の山行は低山で気温も高く蒸し暑いので、何時もより余分に水分補給を行った、このコースは一般コースでも滑落等は起こりやすいので、十分にコース検討を事前に行う必要があります。



二子山登山口 登山届、  
計数カウンターが置いてある



昨年度の遭難情報



最初は沢の中が登山道 リボンは  
あるが、不明瞭



ここから沢から離れ急な九十九折  
を登る



ローソク岩の分岐



古い看板に命のお守りヘルメット



股峠 他の登山口（倉尾）と合流



西岳登山への注意



西岳登山のルート表示



東岳への登りかなりの急登



唯一の鎖場 岩を巻いて登る



登ってから下を見た所 下山時注意



お助けロープがあるが必要無い



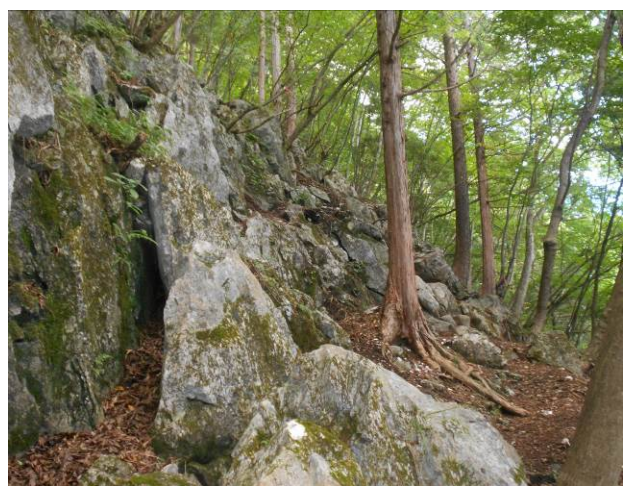
後で登る西岳 正面が上級者コース



東岳山頂（ここで登山者1名に会う）



上級者コースへの分岐点



こちらが一般コース



登って来た所を見た



真ん中がルート まだ中間点



ここは少しオーバーハング



これを登りきると岩場の核心部は通過



上級者コースへ終点 正面が  
西岳山頂



一般コースに合流



西岳山頂 場所は狭い



両側絶壁で尾曾尾根部



この岩の真ん中がルート



尾根よりの下山口 ここにも鎖が設置



中間より下を見た



岩壁の下に到着



ローソク岩分岐 標識は志賀坂峠ですが  
現在は秩父セメントの開発で通行禁止

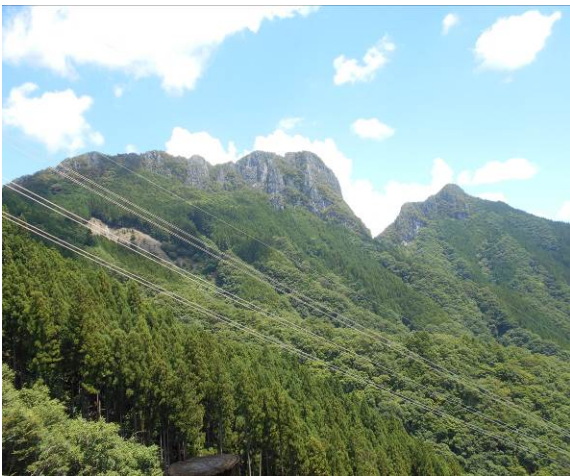


ここが魚尾道峠



鹿柵出口 同じ様にロープを緩め扉を開け  
通過後に扉を閉ロープで固定

鹿柵 扉のロープを緩め通過



正面が二子山 山の尾根道が  
今回のルート



二子山西岳登山口ここから  
西岳山頂往復もある。